

No.	カテゴリー	質問	回答
1	接種	なぜ追加（3回目）接種が必要なのか	日本で接種が進められているワクチンは、高い発症予防効果等がある一方、感染予防効果や、高齢者においては重症化予防効果についても、時間の経過に伴い、徐々に低下していくことが示唆されています。このため、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、初回（1回目・2回目）接種を完了したすべての方に対して、追加接種の機会を提供することが望ましいとされています。
2	接種	3回目接種にはどのような効果があるのか	追加接種を行わなかった場合と比較して、感染予防効果や重症化予防効果等を高める効果があります。 イスラエルで実施された、ファイザー社のワクチンの接種後の情報を集めた研究では、追加接種した場合における入院予防効果は93%、重症化予防効果は92%、死亡に対する予防効果は81%であったと報告されています。さらに、60歳以上で追加接種を受けた場合では、追加接種を受けなかった場合と比較して、感染例の発生率が11.3分の1、重症例の発生率が19.5分の1であったとの報告もあります。 また、米国で実施されたファイザー社の追加接種に係る臨床試験の結果によると、18～55歳の被験者を対象に、ファイザー社のワクチンの追加接種を行い、血清中の新型コロナウイルスに対する中和抗体の増加状況を確認したところ、3回目の接種から1ヶ月後の中和抗体価は、2回目の接種から1ヶ月後の中和抗体価よりも数倍高い値であることが確認されています。
3	接種	3回目接種はどのような人が対象になるのか	感染拡大防止や重症化予防の観点から、初回（1回目・2回目）接種を完了したすべての方に追加接種の機会を提供することが望ましいとされています。現時点では、2回目接種終了者のうち8か月以上経過した18歳以上のすべての方が、ファイザー社のワクチンを接種することができます。 施設接種では、入所者および入所者と日常的に直接接する業務に従事する従事者が対象となります。それ以外の方は接種券が届き次第、お住いの自治体の医療機関にて接種していただくことになります。
4	接種	追加（3回目）接種は、2回目の接種からどのくらい間隔をあけたら接種できるか	高齢者施設の入所者及び従事者については、2回目の接種完了から6ヶ月以上経過していれば接種することが可能です。
5	接種	施設接種の当日に、急な体調不良等によりワクチンに余剰が発生した場合、2回目接種後から6か月以上経過していない従事者に接種してよいか	2回目接種完了後から6か月以上経過していない方への接種はできません。
6	接種	6か月経過後すぐに施設接種の調整ができない。3回目はいつまでに接種したらよいか	高齢者施設においてはクラスターを防止する観点から、接種間隔が6か月以上経過していれば接種することができるようになります。施設の状況に応じて接種計画を策定していただいておりますが、感染拡大防止及び重症化予防の観点から、可能な限り速やかに接種計画を立てるようお願いいたします。
7	接種	1、2回目を医療機関や集会所、他の施設等で接種した方も3回目は施設で接種してよいか	高齢者施設の入所者及び従事者に関しては、2回目接種後6か月以上を経過しており、他の入所者と接種のタイミングが合う（人数調整ができています）場合であれば接種可能です。時期が異なる等で他の入所者と同じタイミングで接種できない場合も、別日で6の倍数のグループを組む等、接種の調整をお願いします。
8	接種	1、2回目の接種をしていない方はどうしたらよいか	現時点で未接種の方、2回目接種のみまだの方で本人が希望する場合は今回の3回目接種と並行して1、2回目接種の対応をお願いします。 3回目接種は、1・2回目時に体調等の事情により医師から接種できないと判断された方への接種を強制するものではありません。3回目接種についても副反応や体調等を理由に不安がある場合は医師にご相談ください。
9	接種	当日体調不良等により接種ができなかった場合どうしたらよいか	体調の回復後、施設接種の予定がある場合はその日程で調整してください。別日での調整が難しい場合や施設接種の予定がない場合は医療機関での接種または訪問接種にて対応をお願いします。
10	接種	インフルエンザワクチン等ほかのワクチンと並行して接種してよいか	他のワクチンを接種する際は2週間間隔を空ける必要があります。
11	接種	新型コロナウイルスに感染したことがある場合、ワクチン接種は可能か	既にコロナウイルスに感染した人も、新型コロナワクチンを接種することができます。ただし、治療内容等によっては、接種まで一定の期間をおく必要がある場合もありますので、いつから接種できるか不明な場合は、医師にご確認ください。例えば、カシリビマブ/イムデビマブ（ロナプリーブ）の投与を受けた場合は、抗体が身体に残っている間はワクチンの効果が弱まる可能性があるため、CDCの見解（下記）を参考にすると、3ヶ月程度はあけることが望ましいとされています。なお、事前に感染したかどうかを検査して確認する必要はありません。 <米国CDCの見解> ・隔離を中止するための基準が満たされるまで延期する必要がある。 ・新型コロナウイルス再感染のリスクは感染後の最初数か月では低く、免疫力の低下により時間とともに増加する可能性があることが示唆されていることから、新型コロナウイルス感染症に最近罹患した人は、必要に応じてワクチン接種を一時的に遅らせることを選択できる。 ・加えて、モノクローナル抗体または回復期血漿での治療を受けた場合は、治療から少なくとも90日以降にワクチンを接種することが勧められる。
12	接種	複数の施設を利用する高齢者や複数の施設を兼務する従事者はどうすればよいか	必ず、接種済証、本人、（入所者の場合は）ご家族に確認し、1か所で接種してください。絶対に2か所以上で接種を受けないようにしてください。
13	接種	初回（1回目・2回目）接種を海外で受けました。日本で追加（3回目）接種は受けられるか	日本で接種が進められている、ファイザー社、武田/モデルナ社又はアストラゼネカ社のワクチンを海外で接種した場合、8か月以上（高齢者施設に従事者は6か月以上）経過していれば、追加接種を受けることは可能です。
14	接種	可能な限り1月中に、遅くとも2月中には施設での接種が完了するように、とあるが6か月経過していない人も他の接種者と一緒に接種してよいか	2回目接種完了後から6か月以上経過していない方への接種はできません。 後から入所・入職した等により 2回目の接種から6か月を経過していない方 については、別途、 接種時期が到達してから接種 （接種場所は施設・施設外どちらでも可）を行ってください。
15	ワクチン	追加（3回目）接種では、どのワクチンが使用されるか 初回（1回目・2回目）接種とは異なるワクチンを使用（交互接種）してもよいか	追加接種に使用するワクチンは、初回接種に用いたワクチンの種類に関わらず、ファイザー社のワクチンまたは武田/モデルナ社のワクチンを用いることができます。
16	副反応	高齢者で一番多い副反応は何か	高齢者で一番多い副反応は、若年者同様、接種部位の痛みです。日本で承認されているファイザー社のワクチンに関して、一番多い副反応は接種部位の痛みです。海外の臨床試験では7割程度の高齢者に起こるとの結果が出ています。これは高齢者で注意が必要な症状というわけではなく、また、若年者よりも少し頻度が低いとされています。 その他、頻度の高い副反応として、倦怠感、頭痛、悪寒、筋肉痛、関節痛などが起こることがありますが、数日以内で良くなるのが分かっています。いずれの有害事象も、高齢者で発生頻度が上がっているというものではありません。
17	副反応	追加（3回目）接種ではどのような副反応があるか	ファイザー社のワクチンの場合、2回目の接種後と比較して有害事象の発現傾向は概ね同様であると確認されています。ただし、初回接種時と比較して、リンパ節の腫れの発現割合が高いこと（5%程度）が報告されています。追加接種の1～4日目に、主に腋窩リンパ節で多く発現しますが、ほとんどの場合が軽度であり、発現後短期間で症状が治まっていることも確認されています。接種後の副反応について心配な点がある場合は医師にご相談ください。
18	接種券	接種券発行リストの作成について	1月前倒し実施分については接種券発行リストの提出をご依頼しましたが、 今後は市内・市外在住問わず、 提出不要 です。 2回目接種から6か月以上経過している方は接種券が届いていなくても接種可能です。 ただし、 2回目の接種済証もしくは予診票の控え等で6か月以上経過していることを確認してください。 詳細は、「【別紙2】施設接種の手引き 別紙<前倒し実施版>」をご確認ください。
19	接種券	前倒し接種に伴い、接種券発行リストの電子申請をしたが一部（または全員）接種券が届かなかった。どうしたらよいか。	接種券が送付されない原因として主に以下が考えられます。 ・接種券リストの様式が古かった ・入力漏れ、記載誤りがあった ・申請が完了していなかった ・市外転入の申請をしていなかった なお、大変申し訳ございませんがシステム上、 発行されなかった原因について個別にお示しすることはできません。 接種券が届かなかった場合の対応については「【別紙2】施設接種の手引き 別紙<前倒し実施版>」をご確認ください。
20	接種券	2回目接種から8か月経過したが、接種券が届かない	ファイザー社、武田/モデルナ社又はアストラゼネカ社のワクチンの2回目接種完了から8ヶ月以上経過しても、接種券がお住まいの自治体から送付されないケースとしては、下記が想定されます。 ・2回接種後、他の市区町村へ引っ越し等、住民票所在地が変更となった場合 ・海外在留邦人の方で、成田空港又は羽田空港にて2回接種を受けた場合 ・在日米軍従業員接種で2回接種を受けた場合 ・製薬メーカーの臨床試験（治験）等において2回接種を受けた場合 ・海外で2回接種を受けた場合 等 <対応方法> 詳細は「【別紙2】施設接種の手引き 別紙<前倒し実施版>」をご確認ください。

No.	カテゴリー	質問	回答
21	接種券	接種券が届かない場合、「接種券付き予診票」は発行されるか	接種券付き予診票は発行されません。接種券が届かない場合は発行申請を行ってください。
22	接種券	接種日までに接種券が届かなかった場合どうしたらよいか (市内に住民票があり、接種券発行リストを提出している場合)	接種券発行リストの入力データに誤りなどの不備があると接種券が作成されず、当初のスケジュール（8か月経過後）に住民票の住所地に送付されます。接種の際に、 2回目の接種済証もしくは予診票の控え等で6か月以上経過していることを確認した場合は 、接種当日は接種券なし（予診票のみ）での接種することは可能ですが、8か月経過後も接種券が届かない場合は再発行手続きが必要です。詳細は「高齢者施設等での接種に関する手引き（別紙）」をご確認ください。
23	接種券	接種日までに接種券が届かなかった場合どうしたらよいか (市外に住民票がある場合)	接種の際に、 2回目の接種済証もしくは予診票の控え等で6か月以上経過していることを確認した場合は 、接種当日は接種券なし（予診票のみ）での接種が可能ですが、8か月経過後も接種券が届かない場合は、住民票のある自治体にお問合せのうえ、再発行手続きを行ってください。詳細は「高齢者施設等での接種に関する手引き（別紙）」をご確認ください。
24	接種券	接種日までに接種券が届かなかった場合どうしたらよいか (6月6日までに2回目接種が完了している方)	2回目の接種済証もしくは予診票の控え等で6か月以上経過していることを確認した場合は 、接種当日は接種券なし（予診票のみ）での接種が可能ですが、再発行手続きが必要です。詳細は「高齢者施設等での接種に関する手引き（別紙）」をご確認ください。
25	予診票	家族の同意等の準備があるため接種券が届く前に予診票がほしい。どうしたらよいか	医療機関へ相談するか、横浜市から送付した様式を印刷または、下記の厚生労働省HPからダウンロードしてご使用ください。 <厚生労働省HP> https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_yoshinhyouetc.html
26	従事者	他自治体に住民票がある高齢者施設等従事者は住所地外接種届が必要か	施設接種にて接種する場合は入所者・従事者ともに不要となります。
27	余剰	当日体調不良等により余剰が出た場合どうしたらよいか	複数グループに分けて接種を計画している場合は、次回の対象者を繰り上げる等して対応する、個別接種での接種としていた従事者を施設接種で対応する等の調整をお願いします。